



# オリーブの島づくり

だより

市が取り組みを進めている「オリーブの島づくり」。平成22年4月から取り組みをスタートし、3年がたちました。そこで今号では、オリーブの島づくりの「いま」をご紹介します。「オリーブの島づくり」については詳しいことは、本庁（別館）・産業政策課 ☎11111へお尋ねください。

オリーブの島づくり①

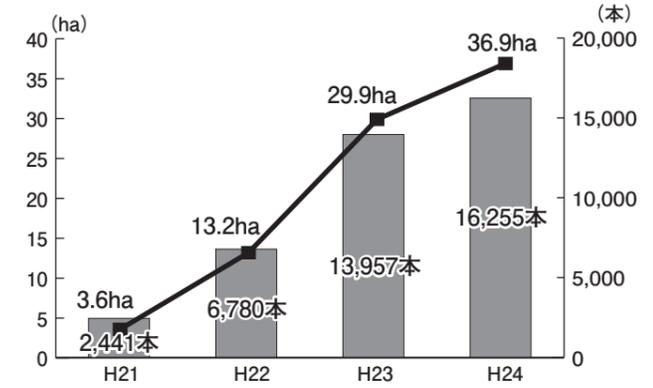
## 36・9ヘクタールに16、255本のオリーブ

現在、市内では36・9ヘクタールの農地に16、255本のオリーブが栽培されています（平成25年3月31日現在、市産業政策課調べ）。栽培面積・本数の推移や各地区の栽培状況は、左ページのとおりです。オリーブの島づくりに向けた取り組みがスタートした平成22年4月以降、栽培規模は着実に拡大、そして市内全域に広がっています。今年の秋は、市内で8

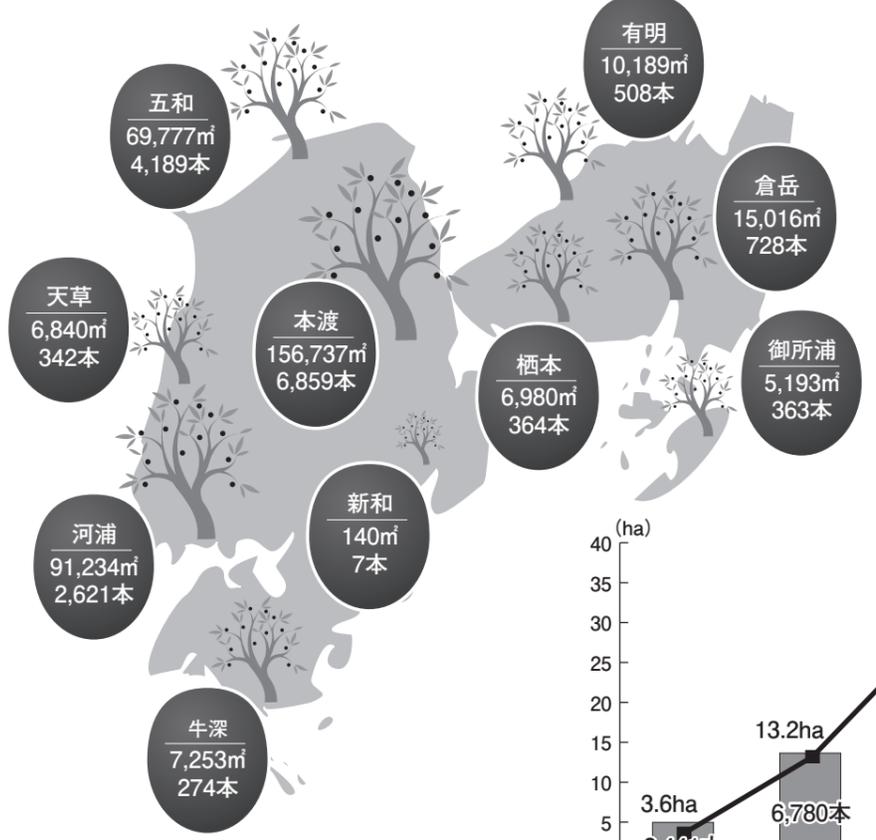
86キログラムのオリーブの実が収穫されました。また、オリーブ栽培に取り組んでいる個人・団体は、105人・4企業・4団体で、年々増えています。栽培規模は数本から数千本の作物や耕作放棄地の解消作物、地域づくりなど、さまざまな目的でオリーブが植えられています。

## オリーブの栽培状況

栽培面積・本数の推移



各地区別のオリーブの栽培面積・本数



オリーブの島づくり②

## 天草産オリーブ製品の商品化が始まる

(株)九電工

平成21年1月に、市とオリーブ栽培の調査・研究に関する協定を締結した(株)九電工。五和町御領にある直営農場「天草オリーブ園」の1・8ヘクタール・1,626本をはじめ、市内の共同研究農家45戸の7,479本をあわせて9,105本を植栽しています。同23年には農場内にオリーブオイル搾油場を建設し、昨年初め

て天草産100%のオリーブオイル28リットルを生産。このオイルは商品化され、国際エキストラヴァージンオリーブオイルコンテストでは金賞を受賞しました。今年の秋は635キログラムを収穫し、52キログラムのオリーブオイルを搾油。このオイルを原料にして、化粧品などの製造が始まっています。



▲直営農場「天草オリーブ園」



▲オリーブオイルの搾油



▲商品化された天草産オリーブ製品